

二人の出会いと共通点

**奥山** 諏訪さんとの出会いは、「大田ス  
 タイル」という本を書いた時で  
 2006年だったと思います。IT経  
 営に特化し「IT経営大賞」を取られて  
 その後十年、振り返ってどうでしたか。

**諏訪** 山あり谷でしたが、楽しかった  
 の一言です！リーマンショックもあり  
 厳しい状況でしたが、社員のありがた  
 み、仕事のあることのうれしさ、お客様  
 への感謝、そういったものが身に  
 染みしました。ピンチを成長のチャンス  
 ととらえて楽しい十年でした。

**奥山** 素晴らしいですね、リーマン  
 ショックは例外にもれず我が社も大変  
 でした。切り抜けられたのは、仕事を  
 待つのではなく取りに行くという挑戦  
 の姿勢に変えていったからでした。そ  
 ういう意味でピンチはチャンスですね。  
**奥山** とところで家族のお弁当づくりと  
 かあるんですか。

**諏訪** 社長就任の時から出来る限りの  
 ことは自分でやると決め、食事の支度  
 は今でも一日九回ぐらいやっています。  
**奥山** 九回ですか！私も家に居る時は

ほとんどご飯を作っていますね。いま  
 だに夫と息子のお弁当を作り続けてい  
 ます。お母さんが働いているからとか、  
 言われたくないという気持ちが強いで  
 すよね。

**諏訪** そうですね。

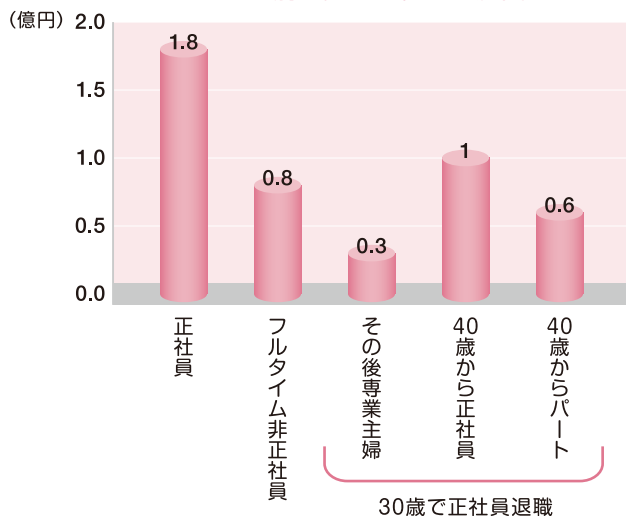


女性のキャリアが中断しないためには？

女性は結婚や出産をきっかけとして正社員を辞めてしまう  
 ことが多いのが現状です。一般の企業で管理職になろうと思え  
 ば、正社員としてキャリアやスキルを中断させないことが重要に  
 なってきます。そのために育児休暇や保育所の拡充、職場内での  
 支援体制など、継続して働き続けられる環境が必要です。また、  
 夫の家事・育児・介護などへの参加も重要です。

しかし「男性が働いて、女性が家庭を守る」という考えが根  
 深いことも事実です。そこでこんなデータがあります。女性が  
 育児休暇を利用しつつも正社員として定年まで働いた場合と、  
 出産で仕事を辞め専業主婦となった場合の生涯賃金の差は、  
 1.5億円とされています。これに年金も加えると、その差はま  
 すます広がります。

ライフコース別に見た女性の生涯賃金



※正社員は学校卒業後、60歳まで学歴・勤続年数別の平均賃金で勤務した場合  
 (資料)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

社員教育と自己啓発

**奥山** 社員教育をすぐくされていると  
 思うのですがお聞かせいただけますか。

**諏訪** 2008年から若手の人材確保  
 と育成ということで、一人一人に合っ  
 た教育が必要ではないかと考えて彼ら  
 の性格を把握することから当社は始め

ています。交換日記を私と一か月間行  
 うんですね。文字とか文章は人の性格  
 を一番よく表します。そこで、そこから各  
 人の能力を見極め、それぞれの社員に  
 あった教育を施しています。

**奥山** 画一的ではないということが、  
 とても素晴らしいと思います。